

第9回山口県地震・津波防災対策検討委員会の議事概要

1 日 時 令和8年6月12日(金) 16:00～17:00

2 場 所 山口県庁 本館棟4階 共用第2会議室

3 出席者 検討委員会委員(16名出席)

4 議 事

- ① 今後のスケジュールについて
- ② 県内活断層に係る地震被害想定の見直しについて(想定地震候補)
- ③ 日本海の地震に係る地震・津波被害想定の見直しについて(想定地震候補)

5 主な委員意見

- ・ 県内活断層には、防予諸島沖の海底活断層のように海域に存在する断層も含まれていることから、こうした海域活断層により津波が発生する可能性についても整理されたい。
- ・ 瀬戸内海側の海底活断層については、海底面を変位させるような断層であれば津波が発生し得る一方、深部で発生し、海底面を大きく変位させない地震の場合には、津波は発生しにくいことに留意する必要がある。
- ・ 津波の発生は、断層の長さだけで決まるのではなく、海底面の上下変位により海水が押し上げられるかどうかが重要であるため、断層の性質を踏まえた評価を行う必要がある。
- ・ 日本海側の活断層については、縦方向のずれにより海底の上下変位が大きくなる場合があり、また水深が深いことから、瀬戸内海側と比べて津波が大きくなりやすい傾向がある点に留意されたい。
- ・ 瀬戸内海側については、南海トラフ地震や周防灘断層帯等による津波について、これまでに検討が行われているが、今回示された県内活断層については、主として揺れによる影響評価を中心に整理されたい。